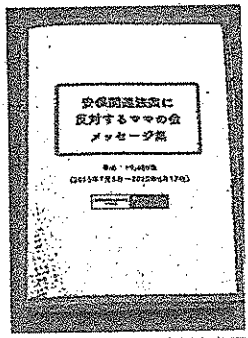


戦争法案

戦争法案に反対する子育て世代の母親の動きが止まりません。「安保関連法案に反対するママの会」などが35都道府県・8地域以上の広がり新しい展開を見せています。特徴は学習会や子どもたちを巻き込んだり、請願署名を集めたりしていることです。自民党幹部からは「若い母親の反対の広がりは特に慎重に対応しなければならぬ」との声が上がり、政権与党を揺さぶっています。(内藤真由子)



2万人近くが声を寄せたメッセージ集

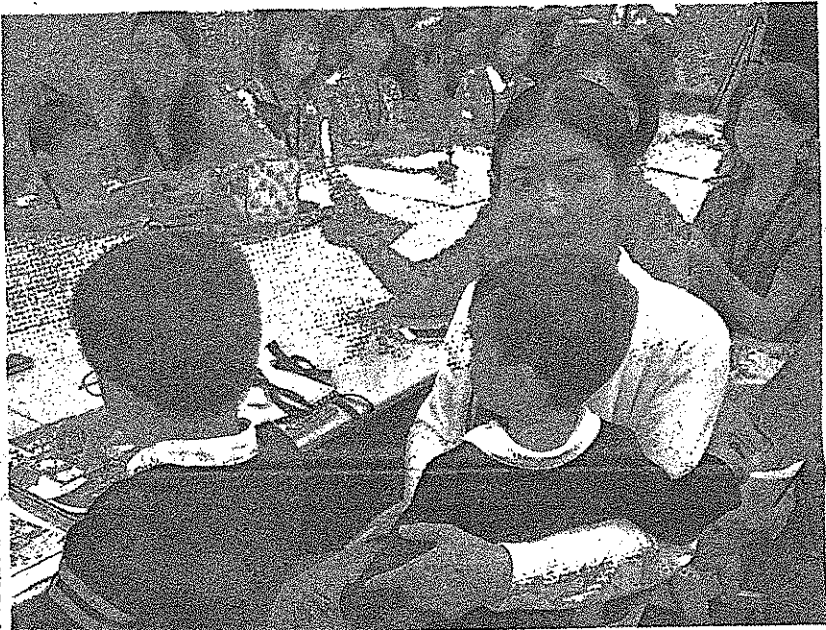
「ママの会」の活動が盛んになり、参院議員会館に子どもたちの元気な声が響き渡りました。同会の「8・27 ママの国会大作戦！」に全国から母親と子どもたち約80人が結集。戦争法案に反対する2万人近いメッセージを参院の主な会派に届けたのです。「ママの会」の活動が盛んになり、参院議員会館に子どもたちの元気な声が響き渡りました。同会の「8・27 ママの国会大作戦！」に全国から母親と子どもたち約80人が結集。戦争法案に反対する2万人近いメッセージを参院の主な会派に届けたのです。

「あの子ですか」。4歳の長男を連れて来た美津さん(43)「仮名」は、応じた自民党秘書にせきを切ったように話しました。「国会中継を覗いていると政府が真面目に子どもに答えていないと思う。怒りが募っています。きちんと答えてほしいです」。5歳と3歳の男の子と1歳の櫻井直香さん(32)は、大きな戦争に

ママたちは

政治に働きかける

戦争する国では子を守れない



子どもを連れて「ママの国会大作戦！」にやってきた母親たち=8月27日、参院議員会館



請願署名を集めた、ママの会の墨田のメンバー=8月16日、東京都墨田区

先アメリカが起すような戦争に巻き込まれるか分からない。日本のために、アメリカから独立していかないとダメです」と熱く語ります。

を渡しました。半数の保護者から用紙が揃って来ました。「頑張っているね。ありがとう」と声をかけられるママもいました。子どもの未来を脅かす戦争法案は許せない、というママやパパの思いは同じです」と話し、同会は新たに衆参両院議長に宛てた反対署名を集めています。

新潟市東区のママたちは「安保法案を強硬し、反対する会」を結成し、子どもを連れて普通のテモにはなかなか参加できない。自分たちがやりやすい形で地元から声を上

「強行採決しないで」と

北海道の会は、道選出の4人の与党参院議員宛てに約1万5300人の反対署名を集めました。高橋春香さん(41)「学習会」は勇気を奮って、子どもが通う保育園の約100人の園児全員に保護者に署名用紙

「ママの会」は、道選出の4人の与党参院議員宛てに約1万5300人の反対署名を集めました。高橋春香さん(41)「学習会」は勇気を奮って、子どもが通う保育園の約100人の園児全員に保護者に署名用紙

「ママの会」は、道選出の4人の与党参院議員宛てに約1万5300人の反対署名を集めました。高橋春香さん(41)「学習会」は勇気を奮って、子どもが通う保育園の約100人の園児全員に保護者に署名用紙

自民議員に直談判 与党揺さぶる

議員が紹介議員になりました。先月には区長と会い、要請書を出しています。言いたいことの中村華子さん(36)「自民派」は6歳、4歳、1歳の子どもをもうシングルマザー。日本が戦争する国にな

れば、子どもたちを守れない」と7月、子どもを連れ初めて国会前行動に行きました。衆院での強行採決に「もっとやれることがあったはず」と悔やんでいたときママの会を知りました。「墨田でもやりませ

か。フェイスブックのアプリ投稿にママが次々と応じ、墨田の会を立ち上げました。おかげには5日間、連続でママらが子どもと名前紙を渡すなどしました。

「署名のため改めて勉強して一番怖いと思ったのは後方支援です。この名を集めたママもいます。故郷から子どもを守る会の活動をしている知人に誘われ、会に加わった3人の子の母親(43)

神奈川県の会も1日、廃案を求める請願署名を横浜市議会に提出。地元自民党衆院議員ともじかに懇談しました。

石川県の会はネットで募ったメッセージを日本共産党の藤野保史衆院議員をはじめ地元選出の国会議員らに手渡し、反対の思いを伝えています。

兵庫の会は地元選出の鴻池祥輝・参院安保法案特別委員長に「強行採決をしないで」とのメッセージを送る取り組みを始めています。